

待降節第3週 主日礼拝

2017年12月17日

第一礼拝(午前8:00) 第二礼拝(午前10:30~) 夕拝(都合により休会)

前奏	(新聖歌41)		
招きのみことば	『イザヤ書』7章10-14節	司会者	
※開会の賛美	新聖歌4「小羊をば」	—	同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—	同
代表祈禱	司会者	
感謝の賛美	新聖歌82「牧人羊を」	—	同
聖書朗読	『マタイの福音書』1章18-25節(新約1頁)	司会者	
黙想	—	同
説教	「正しい人にも福音を！」	近伸之牧師	
※応答の賛美	新聖歌188「救い主は待っておられる」	—	同
感謝の献金	(新聖歌58)	—	同
感謝祈禱	小山千春姉	
諸案内	(来信・集会案内)	司会者	
諸報告	(来会者紹介・報告・暗唱聖句)	近伸之牧師	
※頌栄の賛美	新聖歌63「父御子御霊の」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り	近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)

第一礼拝	司会説教：近伸之牧師	音響：片山勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
司集	会：片山勝三兄 会：笹川清子姉	映像・音響：片山浩司兄 説教の録画：近伸之牧師	C S 担当：佐藤繁実兄 カナン担当：佐藤鈴子姉 掃除：片山初子姉

説教メモ

1. 眼前に突きつけられた現実に関わらず、裏切りへの怒りに飲み込まれず、正しい人として歩んだヨセフ。
2. 彼もまた罪の救いを必要とする「ご自分の民」のひとり。神の光に照らされると人の正義は霞んでしまう。
3. 神の言葉のとおり「イエス」と名づけたヨセフ。彼のような正しい人もまた、救いと福音を必要としている。

先週の暗唱聖句

「神にとって不可能なことは一つもありません」 (『ルカの福音書』1章37節)

今週の暗唱聖句

「マリヤは男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。この方こそ、ご自分の民をその罪から救ってくださる方です」 (『マタイの福音書』1章21節)

(牧師のサイン：)

個人、団体からの来信

2017年12月17日

「らいふだより」アドベント号／宣教区青年会[1月20日(土)午後3:00より五十嵐教会にて]／
「敬和カレッジレポート」第89号／OM日本ニュース「global」／「Move On !」／
新潟朝禱会通信(第175号)／北海道聖書学院より献金依頼

先週の集会出席者数

12/10(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児1 成人男性-		
		幼児女子2 小学女子1 中学女子- 高校女子- 女児3 成人女性2		
	第一礼拝	男3(求1) 女3		
	第二礼拝	男11 女18 計29	12/11(月)	月曜家庭集会 男2 女4
	(子ども)	男児2 女児4	12/13(水)	新潟山形療禱会 男5 女5
	夕拝	(休会)	12/15(金)	しゃべり場タピタ 男- 女3
			12/15(金)	金曜祈禱会 男1 女4

諸集会のご案内

12/18(月)午前9:30	実用書道教室	『ルカの福音書』2章1-7節	書の指導：藤田美保姉
12/18(月)	月曜家庭集会	(休会)	
12/20(水)午後7:30	救禱会	教会堂	司会：片山勝三兄
12/22(金)午後1:00	しゃべり場タピタ	渡邊智子姉宅	問合せ先：渡邊智子姉
12/22(金)午後8:00	金曜祈禱会	教会堂	

12/24(日) 待降節第4週

	第一礼拝と教会学校は、クリスマス礼拝に合流		
午前9:30	奉仕者祈り会		
クリスマス 歓迎礼拝 午前10:00	司会：片山健司兄 集会：調整中	賛美リード：賛美チーム他 音響・録音：片山勝三兄 説教の録画：近伸之牧師	感謝祈禱：笹川清子姉 掃除：小林洋子姉
礼拝について	『ルカの福音書』2章1-20節(週報に掲載予定)		
主日の予定	クリスマス祝会	正午~午後3時頃	
夕拝	燭火礼拝	午後7:00~9:00	

報告

1. 本日の予定
待降節第3週の主日礼拝を感謝します。礼拝後は昼食をいただき、午後2:00よりカナンにてキャロリングをします。
2. 週末の予定
今週12月23日(土・祝)について。午前中はスマイルホーム、午後はながうらの郷を有志で訪問します。賛美やお話や劇の準備が整い、証しを立てることができますように。
3. 個人消息
横山美智子姉の実父、飛鳥井俊夫さんが昨日天に召されました。ご遺族ひとり一人に主の慰めがありますように祈りましょう。葬儀の日時などは追って連絡があります。
4. 先週の来会者
12月13日(水)新潟山形療禱会に、佐藤香菜姉が導かれました。感謝します。

「孤独を大切に」安海靖郎 (「ライフ・ライン」メッセージ集より)

ベテランのカウンセラー菅野泰蔵さんが、『このころの時間です』という本の中でこんなことを言っています。

「今、人間関係が薄くなっている時代、孤独を感じる人が多い。そして、孤独は克服するもの、耐えるものと感じる人が多い。

しかし、孤独とは親しむものであり、決して忌み嫌うものではない。むしろ孤独であることが、いろいろな芸術家の例を見ればわかるとおり、新しい創造を生む力だ。

しかも、孤独であることをつらいと感じると、ストレスとなって長生きできない。

確かに、現代は人間関係が希薄になり、孤独を感じやすい面があります。しかし、逆にそこから逃れる道も多くあって、孤独を孤独として感じにくくなっているという面もあるのではないのでしょうか。例えば、テレビ、オーディオ機器、コンピュータ、インターネットなどの発達で、ひとりでも孤独を感じない環境があります。

むしろ、孤独が何かを生み出す、新しいものを創造するチャンスでもあるとすると、かえって今は、孤独を大切にしなければならぬとさえ言えるかもしれません。

それに、孤独は創造のために必要なだけでなく、自分自身を見つめ、自分のありのままの姿を自覚する機会でもあります。さらに、わずらわしい人間関係を離れて、どんな関係よりも心を豊かにしてくれる、神との交わりの機会でもあるのではないのでしょうか。

聖書には、「静まって、わたしこそ神であることを知れ」(『詩篇』46篇10節・口語訳)とあります。心静かに自分ひとりになるときが、創造主なる神を知るチャンスだと言うのです。

旧約聖書でイスラエルとも呼ばれたヤコブという人は、母の偏愛を受け、父と兄をだまして、母方の伯父のところへ逃げます。そして荒野でひとり寂しく、石を枕に休みます。まさに荒野の孤独です。しかしその夜、夢の中で神様に出会います。彼は初めて、個人的に神様を知り、新しい信仰と勇気をもって出かけました。その後、彼は神の民と呼ばれる人となったのです。

人生の旅路で不安を感じる時、孤独なとき、そのときこそ、聖書に出会い、神を知り、信じる機会ではないのでしょうか。



ライフ・ライン

毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中
★24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



12/23(土)クリスマス番組 「クリスマス for You」関根弘興牧師

クリスマスをお祝いし、楽しく過ごす「ライフ・ラインのつどい」を静岡県富士宮市で行いました。関根弘興牧師によるクリスマスのお話「クリスマス for You」と、サクソ奏者・安武玄晃さんのコンサートの様子をお届けします。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGiN. ここから始まるあなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、
『ライフ・ライン』の協力教会です。

2017年12月17日

週 Weekly Bulletin 報

Vol. 46/No. 51
(通巻2346号)



毎年12月17日は「飛行機の日」。1903(明治36)年のこの日、アメリカ・ノースカロライナ州のキティホークで、ウィルバーとオーヴィルのライト兄弟が、自ら組み立てた動力飛行機「ライトフライヤー号」の初飛行に成功した。この日、同機は4回飛行し、1回目の飛行時間は12秒、4回目は59秒で飛行距離は256mだった。しかし当時の人々はこの結果に注目せず、彼らをペテン師と呼ぶ人々さえいた。

2017年度教会目標 **「受けるよりも与えることを」**

「主イエスが自身が、『受けるよりも与えるほうが幸いである』と言われたみことばを思い出すべきことを、私は、万事につけ、あなたがたに示して来たのです」

(『使徒の働き』20章35節)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区

豊栄キリスト教会 (牧師 近伸之)

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://toyosakakyokai.sblo.jp>

